

H23年度 新理事・監事紹介



写真左から、  
平野新理事・新監事の  
斉藤氏・大吉氏

H23年総会にて役員改選が行われ、新理事に平野公彦氏(青森支部平野商事(株))・監事に斉藤由志氏(山形支部木づくりの住い結)・大吉彦氏(関東支部(株)レイハウジング)が承認されました。

総会研修会 会員発表②

会沢事務局長は平成8年に自宅を断熱耐震改修(自らはQ1.0改修とネーミング)されました。3.11の大震災では震度6強にもまったく無傷、それよりも特筆すべきは3.11以後暖房を完全にOFFにして7-8度を暮らしました。暖房を切って5日目、真冬の寒さがぶり返しましたがそれでも難なく暮らせる温度環境が測定できました。総会では、その内容が発表されたので要点を抜粋紹介します。



会沢邸のリフォーム新旧 H8.12竣工  
冬の日射熱を採る南側開口部



測定器おんどとりTR-72 ☆詳細技術情報44号  
暖房無しで15~16°Cで推移している 近日発行予定

被災地支援

気仙沼に大工道具を



「津波から助かった家を修理してくれと言われても金槌のひとつもないので手も足も出ません」津波による大被害を受けた気仙沼市のかねき建設熊谷さんの話。それを聞いて岐阜の金子さんに「工務店に余っている工具でもいいから集まりませんか。工具があれば被災地の応援に役立つのですが」「よし、皆さんに声をかけてみましょう」と話は名古屋のあいけん、妙高の家'Sハセガワの協会の、松本の新住協会員に伝わり、結果はあっという間に大型トラック一台の工具。4月20、21日金子さん自ら大型車を運転、名古屋の横井辰幸さんと仙台～気仙沼へ。この距離往復1800キロ「工具はお金より私の気持ちを奮い立たせた」という現地の謝辞に1800キロの旅も報われたと金子さんの談。左は恵那の地元新聞

新入会員紹介(平成23年3月末までの入会分)

- <北海道ブロック>
  - 札幌支部
    - ◇和泉 信幸 (㈱はあとふるホーム)  
札幌市手稲区新築寒5条5丁目2-3  
TEL:011-684-8883
  - 十勝支部
    - ◇秋島 雅彦 (㈱秋島建設)  
上川郡清水町南4条5丁目/TEL:0156-62-4004
  - <本州ブロック>
    - 秋田支部
      - ◇大友 実 (大友建設(株))  
秋田市卸町1-10-1/TEL:018-823-2848
    - 岩手支部
      - ◇三浦 弘勝 (翼プランニング)  
盛岡市つづじが丘39-11/TEL:019-653-4088
    - 宮城支部
      - ◇天内 利恵 (㈱住宅工房)  
仙台市宮城野区銀杏町1-4/TEL:022-742-1262
      - ◇山家 英富 (㈱山家工務店)  
柴田郡大河原町緑町2-3  
TEL:0224-52-5409
      - ◇村上 衛 (㈱SAM建築設計事務所)  
白石市旭町2丁目7-23 メゾン・アペーヌ102号  
TEL:0224-25-7489
      - ◇秋山 哲也 (㈱環境デザイン工房)  
名取市大手町4丁目1-4/TEL:022-382-9172
      - ◇宗方 正吉 (共栄ハウジング(株))  
仙台市泉区東黒松27-7/TEL:022-355-5175
      - ◇高橋 健一 (㈱東北ユニックス)  
名取市那智が丘2-4-7/TEL:022-386-6050
    - 新潟支部
      - ◇宮本 利博 (㈱インベンションハウス)  
富山県魚津市木下新8165-16/TEL:0765-22-8898
      - ◇渡部 政雄 (㈱ハンズワタベ)  
新潟県燕市蔵間55-1/TEL:0256-62-3899
    - 岐阜支部
      - ◇松本 吉弘 (㈱松本吉弘建築設計事務所)  
石川県石川郡野々市町押野4丁目125  
TEL:076-248-0063
    - 関東支部
      - ◇村上 忠志(村上忠志建築工房 一級建築士事務所)  
横浜市青葉区たちばな台2-24-4 サハ 1F今井401  
TEL:045-961-4910
      - ◇深澤 良一(㈱深沢組)  
群馬県前橋市今井町931-8/TEL:027-268-2805
      - ◇森田 守年(森田建築)  
東京都福生市熊川531/TEL:042-551-6100
    - 近畿支部
      - ◇瀬戸 光好 (㈱家族の森)  
奈良県生駒郡斑鳩町龍田西4-7-5  
TEL:0745-44-9585
      - ◇武原 洋三 (㈱ワイツ)  
奈良県生駒郡平群町若葉台5-8-13  
TEL:0745-45-7918

■現在の会員数(22/4/20現在)  
全会員数696(北海道164・本州532)

札幌支部44/旭川支部28/函館支部14/胆振支部15/釧路支部7/十勝支部24/北海道その他6/北海道推進21/北海道市民会員5

青森支部45/秋田支部26/岩手支部55/山形支部50/宮城支部36/福島支部22/新潟支部39/長野支部23/関東支部75/岐阜支部64/本州その他49/本州推進33



新住協だより2 第3号

事務局 仙台市若林区かすみ町24-10  
TEL 022-781-1371  
FAX 022-781-1372  
e-mail:npo.shinjukyo@gmail.com  
http://www.shinjukyo.gr.jp/

- 第3号 主な内容 □
  - ◆全国総会in京都 報告
  - ◆断熱耐震同時改修…申請のスケジュール ◆新役員
  - ◆新入会員紹介 ◆事務局インフォメーション

◇震災後1か月が過ぎ…  
おかげさまでもちまして、4月12日より、仮事務所から、これまでのかすみ町事務所へ戻り、通常業務に戻りました。総会も無事に終わることができました。ここにあらためてお礼申し上げます。

平成23年5月31日

H23年 第7回 NPO法人新住協通常総会及び全国研修会  
(5月19日(木)<前夜祭>・20日(金)<総会・研修会・交流懇親会>・21日(土)<分科会>)

5月20日、京都リサーチパーク(京都市)にて、第7回NPO法人新住協通常総会及び全国研修会が行われました。全国研修会には、各地から185名の会員が参加し、Q1.0-X住宅を中心とした鎌田先生の基調講演、東京大学名誉教授、元日本建築学会会長内田祥哉先生の記念講演が行われました。(総会内容は議案書をご覧ください)



総会資料は、ホームページ会員専用コーナー(PASSWORDは、shin10kyo07)にアップされています。総会に出られなかった方は、こちらからダウンロードしてご覧ください。

新住協 平成23年活動重点テーマ

- 1.断熱耐震同時改修の実践主旨
  - ・3.11の東日本大震災によって我々は住宅に関して2つの重要なキーワードを持ったと考える。一つは耐震でありもう一つは原発問題に絡む一層の省エネ強化である。
  - ・既存住宅の改修においてはその重要性が特に求められる。
  - ・「新住協の断熱耐震同時改修プロジェクト」では、性能の目標値を設定しその建設を進めている。これらを改修の基本性能として新住協の標準としたい。(一般診断法評点1.0、Q値次世代基準以上)・夏の涼しさ・省エネに対する設計上の創意工夫を向上させたい。
- 2.高断熱住宅新時代 Q1.0住宅-X
  - ・Q1.0プロジェクトのスタート後7年、Q1.0住宅の省エネ快適は確実に検証されている。(震災後の暖房不能時でも実証)
  - ・大震災・原発問題で、Q1.0住宅は省エネ・省CO2の両面から社会的なニーズに高まりつつある。
  - ・新住協では、これからのQ1.0住宅を省エネ・省CO2性能を明確区分し取り組みたい。Q1.0住宅～Q1.0住宅-S～Q1.0住宅-Xである。
  - ・LCCM(ライフサイクルカーボンマイナス)という概念が問われる時代、新住協のQ1.0住宅-X推進の初年度と位置づけたい。
- 3.ユーザーへの普及啓蒙活動
  - ・昨年の長期優良住宅「断熱耐震同時改修プロジェクト」では上限200万円の補助金交付がユーザーに大きなインパクトを与え、新住協でははじめてユーザーに向けて数多くPR活動を行った。中で特筆すべきは「意見広告」である。これにはいくつかの意味があり、それは新住協は「意見」をいえる家づくりをしていること、その「意見」に共感するユーザーがいること。
  - ・今年ユーザーへのPRは「意見広告」を基調としていろいろな試みをしたい。

■具体的な活動計画は議案書P28～31をご覧ください。23年の計画が記載されています。



全国総会 in 京都



19日18:30 恒例の前夜祭 高瀬川沿いの木屋町で、京都を味わいながら一年ぶりの再開を愉しむ



20日9:45 総会開始



代表理事挨拶  
室蘭工業大学 鎌田紀彦教授



20日総会 議案審議  
議長 平野公彦氏 (写真右)  
議案書提案 会沢理事 (写真左)



20日11:30 基調講演  
代表理事 室蘭工業大学 鎌田紀彦先生



20日13:30 記念講演  
東京大学名誉教授 内田祥哉先生



15:30 会員研究発表① 事務局 久保田  
断熱耐震改修の事例報告  
㈱アズミホーム 塚田正一氏  
㈱猪子建設 猪子茂昭氏



16:30 会員の研究発表②  
停電時、暖房無しの高断熱住宅室内温度  
環境 会沢事務局長が自宅測定結果を報告



19:00 全国交流懇親会  
(メルパルク京都)



次回開催予定地(広島市)の会員挨拶  
写真左から(株)カオル建設(株)、(株)プランサー、坂本建設工業(株)各社長



21日の分科会 研修会コース  
京都府中小企業会館8F研修室



21日の分科会  
京都の名庭視察コース

総会資料は、ホームページ会員専用コーナー(PASSWORDは、shin10kyo07)にアップされています。総会に出られなかった方は、こちらからダウンロードしてご覧ください。

総会研修会 会員発表①

断熱耐震同時改修補助事業において、昨年度内に実績報告を行った工事例から、(株)アズミホーム塚田社長(長野支部)と(株)猪子建設猪子社長(十勝支部)から、その報告発表がありました。その中から一部を紹介します。断熱改修の基本に沿った忠実な施工内容です。

長野県安曇野市 T様邸(長野支部 (株)アズミホーム)

部位	断熱仕様	断熱面積 A[m <sup>2</sup> ]	断熱率 Q[m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	断熱効果 A-Q[m <sup>2</sup> ]	断熱効果率 Q[m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]
屋根	HUM16K 200mm	81.04	0.224	18.257	0.244
外壁	GN13K 50mm + HGR10K 90mm	83.33	0.318	26.484	0.355
外壁	HGR16K 100A50mm	10.71	0.228	2.441	0.233
基礎	押出型PSF3種 50mm	-	-	36.435	0.516
開口部	-	24.98	-	82.886	0.841
換気	換気回数 0.5回 (24h 断熱換気機)	250.83	-	23.169	0.311
増当量<床面積	-	74.53	-	-	-
住宅全体	-	-	-	171.50	0.301

<サッシ>アルミ樹脂複合LOW-EA<sup>+</sup>一部にカミサモ



基礎鉄筋調査～鉄筋探査機で調査⇒有筋を確認



断熱耐震同時施工～気流止め+既存筋交いに金物取り付け



桁廻りの断熱耐震同時施工～気流止め&補強金物



屋根断熱の様子



北海道帯広市 H様邸(十勝支部 (株)猪子建設)

部位	断熱仕様	断熱面積 A[m <sup>2</sup> ]	断熱率 Q[m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	断熱効果 A-Q[m <sup>2</sup> ]	断熱効果率 Q[m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]
天井	吹き込みウレタ 200mm	72.90	0.167	12.162	0.187
外壁	GN13K 100mm + 高性能3種 42+4 30mm	76.91	0.290	21.542	0.285
床	GN13K 50A50mm	69.56	0.427	29.607	0.255
開口部	-	19.57	-	39.848	0.547
換気	換気回数 0.6回 (65A 断熱換気機)	174.96	-	22.352	0.306
増当量<床面積	-	72.90	-	-	-
住宅全体	-	-	-	116.64	0.300

<サッシ>PVCARLowEペア



事前調査～土台廻りの金物・断熱材等のチェック



外装張替え工事・桁廻りの金物補強と気流止めグラス



圧縮グラスウールによる気流止めと金物補強



『新住協の断熱耐震同時改修プロジェクト』  
平成22年3月着工分の今後の申請スケジュール

『新住協の断熱耐震同時改修プロジェクト』の今年度のスケジュールと注意点です。

■重要！H23年度交付申請・実績報告のスケジュールが下記の通りとなりました。

- 交付申請提出期限 各申請窓口に、H23/4/30まで
- 実績報告書提出期限 各申請窓口に、H23/11/10まで
- 補助金交付予定 H23年度末(H24年3月末頃)

■実績報告後、10%程度、国交省の現場検査があります。

先導的提案の内容がどのように施工されたかを直接現場に国交省から委託された検査員が伺いチェックします。昨年度は、29件申請し、3現場で行われました。今年度は、15件程度の検査が予想されます。基本的には、指示があった現場は、監理者立会いの下で、検査を受けなければなりません。ですから、必ず、現場施工中写真は記録として残して、整理しておくようお願いいたします。尚、建築主にもその旨の可能性をお伝えください。

- ◆申請窓口◆
- 北海道
- ICJ<sup>+</sup>環境建築計画 太田晋一
- 青森・秋田・岩手
- U建築計画 植田優 (社名が変わりました)
- 宮城・山形・福島・新潟・関東
- 事務局 久保田淳哉 (震災影響により、当面直接事務局といたします)
- 岐阜・長野・本州その他
- (協)東濃地域木材流通センター 小木曾正富